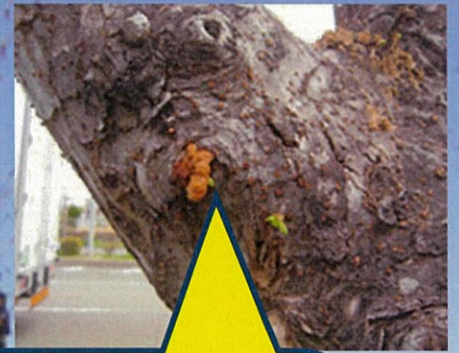




産卵痕

寄主植物にすり鉢状のかみ傷を付け、そのくぼみに1個ずつ産卵する。



フラス

幼虫は、白く粗い木屑状のフラスを排出する。
ただし、ふ化直後は黒褐色の細かい糸クズ状の糞を産卵痕から排出する。

成虫の脱出孔

直径10～15mmのまん丸い孔を開け脱出する。



寄主植物

ニレ属(アキニレ、ハルニレ)、カツラ、トチノキ属、ヤナギ類(海外では、ポプラやカエデ類への被害が報告されています。)

防除方法及び留意点

伐倒駆除

- ☆被害木を伐採し、細かく破砕(チップ化)するか焼却処分する。
- ・伐採後も幼虫は樹木の中で生き続け、成虫となって脱出できるため、伐採した樹木は放置せず、速やかに破砕又は焼却する。

薬剤防除

- ☆成虫:成虫発生初期又は直前に樹幹散布する。
- ☆幼虫:食入孔にノズルを差し込み噴射する。
- ・樹木類・カミキリムシ類に登録のある農薬を使用する。
- ・農薬の使用に当たっては、必ず登録内容を確認する。

ツヤハダゴマダラカミキリを見つけたら

- ・土地や施設の管理者、自治体窓口までご連絡ください。
- ・発見日時、発見場所、発見時の状況をお知らせください。
- ・可能であれば、写真を撮影してください。
- ・成虫を捕まえた場合は、殺処分してください。